



第8回塩谷郡市医師会市民公開講座報告

塩谷郡市医師会市民公開講座 2012年10月28日

塩谷町アリーナ（塩谷中学校）で、第8回市民公開講座を行いました。

参加者は、スタッフ含めて300人でした。アリーナの椅子席は500席でしたので、ちょうど良い加減に座ることができました。

午後1時、主催者（塩谷郡市医師会）代表と来賓（塩谷町長）の挨拶のあと、いよいよ講演会が始まりました。

プログラムは

「塩谷中学校の放射線量測定を実施してわかったこと」和田賢一氏

「食物や身の回りで接するものの放射能を測定してわかったこと」金澤享彦氏

「福島第一原発から1年7か月が過ぎて～低線量被曝をどうみるか～齋藤紀先生



初めの二題の演者は、福島原発事故以来、当地区も放射線量が高い状態が続き、行政の対応も遅れがちな時に、率先して放射能に取り組んだ塩谷町の住民です。身近での放射能汚染はどうであったのか、真剣に向き合ったお二人からの報告です。



一題目は2011年当時、塩谷中学校PTA会長であった和田歯科医院院長の和田賢一先生から「塩谷中学校の放射線量測定を実施してわかったこと」と題する報告でした。学校で生活する子供たちへの影響をいかに少なくするかを考えて、その第一歩として、PTAと協力して、中学校の敷地内の放射線量を測定し、ホットスポットの状況を明らかにしました。それから、そのホットスポットの除染（除去）作業の経

過と、結果をお話いただきました。一つの施設でも場所によって放射線量が大きく違うところがあり、子供たちの被曝を少しでも減らそうと、PTAがいち早く取り組んだ活動のご報告でした。素晴らしい行動力に敬意を表します。



二題目は塩谷町の自然を愛して移り住んだ地区が、原発事故により除染実施計画対象地域になってしまった、水質分析や機器のメンテナンスの仕事をしている金澤享彦（ゆきひこ）さんによる「食物や身の回りで接するものの放射能を測定してわかったこと」です。食物や環境の放射線量が昨年と今年でどう違ったか、どういうものが高い放射能を持っているのか、具体的に示されました。たとえば、昨年の玄米は4～8 Bq/kg、遮光ネット被覆のしいたけは昨年266 Bq/kgで、今年は122 Bq/kgなど金澤さんが実際に測定した数値の発表でした。興味深いのはタケノコの数値でした。おいしい先端部分に7割のセシウムが集まり、根の部分は1割に過ぎないということです。子供たちが絶対に避けなくてはならないのは、落ち葉や自然木を燃やした際の灰であるということを示されました。金澤さんの自宅の杉の枯葉には6150 Bq/kgのセシウムが含まれており、灰にすると、なんと105000 Bq/kgになったとのこと。矢板が候補地になっている最終処分場は8000～100000 Bq/kgの汚染物質が対象になっているのですが、そこでも処分できないほどの放射線量であることがわかりました。

お二人のお話から、ピンポイントの除染の大切さや、そのための放射線量測定器の必要なことがわかりました。落ち葉などのたき火や、どんどん焼きなど地区で行うイベントには、小さい子供たちを参加させてよいのかどうか、測定器が大変重要な役割を果たします。



基調講演は「福島第一原発事故から1年7か月が過ぎて～低線量被曝をどう見るか～」

講師は、福島県医療生協わたり病院の内科医師であります齋藤紀（おさむ）先生です。齋藤先生は広島大学原爆放射能医学研究所（臨床血液学）でご研究、ご診療に当たられ、また、広島原爆症の原告団を長年にわたって支えてこられた経験と、東北大地震、福島第一原発事故をまさに現地で体験されました。

講演の冒頭、齋藤先生は、和田先生と金澤さんの二題の発表を「大変感銘し、感動しました」と話されました。放射能は目に見えないので、お二人の発表のように「可視化が大切」ということで、福島でも「このような発表はなかなか無い」ということでした。

齋藤先生は、事前アンケートにも目を通されて、なぜ追加被曝線量が年間1ミリシーベルトなのか、ということから話を始められました。

低線量の線がDNAの二本鎖を直接損傷することは少ないが、水分子を分解し、ヒドロキシラジカルを作ることが細胞損傷につながるのだということをお話されました。もちろん、修復する能力を我々は持っているわけですが、この能力が低い人もいますので、低い線量でも避けるべきだということです。

原発事故後、大気中に放出された放射性セシウムは、半減期30年のセシウム137と半減期2年のセシウム134が1:1の割合で存在しているので、3年でだいたい半分に減るだろうとされていて、そのあとは（主にセシウム137だけになるので）ゆっくり減るということになります。

1986年チェルノブイリの原発事故がおき、さまざまな健康被害が発生し、研究論文も発表されていますが、そのなかに「事故後、膀胱がんが増えた」というウクライナのロマネンコ博士の論文が福島原発事故以来一般に知られるようになりました。そのことを知った福島の方が詠われて地元の新聞にも大きく取り上げられた短歌を齋藤先生は紹介されました。

<この庭に20年後に膀胱を失くすこどもも今は遊べり>

「私は、これは重大な問題だなと思いました」と、齋藤先生は語ります。

「この作者にお会いして、じっくりお話がしたい」ということでした。齋藤先生は、論文は統計部分だけを見るのではなく「『考察』が大切なので、そこを読んでください」ということを強調されました。なぜ、膀胱がんが増えたのか、この論文の舞台であるウクライナでは汚染物質をどう管理していたのか、食物として長い間摂り続けざるを得なかったのではないか。放射能汚染に対する行政当局の怠慢を指摘したものであった、ということでした。このことを短歌の作者と話し合いたいという、誠実な齋藤先生のお人柄に、感銘を受けました。

講演後、あるお母様から前もって頂いていた「子供の安全を守るにはどのようなポイントをおさえればよいのか」という質問をいたしましたところ、「放射線量の可視化が大切で、そのためには、和田・金澤両先生のように測定して、行事などを行うのがポイント」という答えでした。

放射能という難しい演題ではありましたが、三人の先生方には、やさしくお話しくださいますして、主催者としては、大変感謝申し上げる次第です。

それから、講演に来てくださいました皆様、放射能に対する考え方も様々でしたでしょうが、最後までご聴講くださりありがとうございました。また、146人もの方々がアンケートにお答えいただき、感謝いたしております。

塩谷町役場の皆様には会場設定や、壁に展示した各学校の放射線量の推移のグラフなどの作成など大変お世話になり、ありがとうございました。大変にわかりやすく、大勢の方々が真剣に見ておられました。展示した甲斐があったというものです。

また、講演会を支えてくださったボランティアの方々、本当にご苦労様でした。おかげで、成功裏に終わりました。来年もまた宜しくお願い致します。

(塩谷都市医師会)

雑感 戸村光宏

今回司会を担当しました。

かなりプレッシャーでした。参加者が100人に達したら成功だなと思っていました。

それが、会場での資料を持っていかれた方が220人ということで、大成功でした。

アンケートも146人が答えていただき、本当にうれしかったです。なかに、「いいお話なのに出席者が少なくて残念です」と書いてくださった方がありました。とてもうれしいご意見ですが、いえいえ、これだけの方々が来てくださり、もう感謝しております。それだけ、「いいお話」だったんですね。

アンケートの結果は下に掲載しましたので見ていただくことにして、講演前に頂いた、あるお母さんからの手紙をご紹介します。

「私は、注意すべきポイントを押さえればかなり子供たちの安全を守れるのではないかと考えています。以前は放射能に関して『ゼロか百か』と考えていましたが、『注意すべきことは注意して子供を守りましょう』と考えるようになったら、(今まで話を聞いてくれなかった)周りの雰囲気も変わりつつありました。しかし、栃木県の有識者が新聞で『恐れず通常の生活を』と発表してから、周りの意識が変化し、ギャップに悩んでいます。家庭で庭木などを燃やしたり、どんどん焼きをしたり、地域の奉仕作業で神社の杉の葉を燃やしたり、そんな場に子供たちも参加しています。私は神経質すぎるのでしょうか」

このお手紙に、今回の講演会がお役にたてたのかどうか、わかりません。

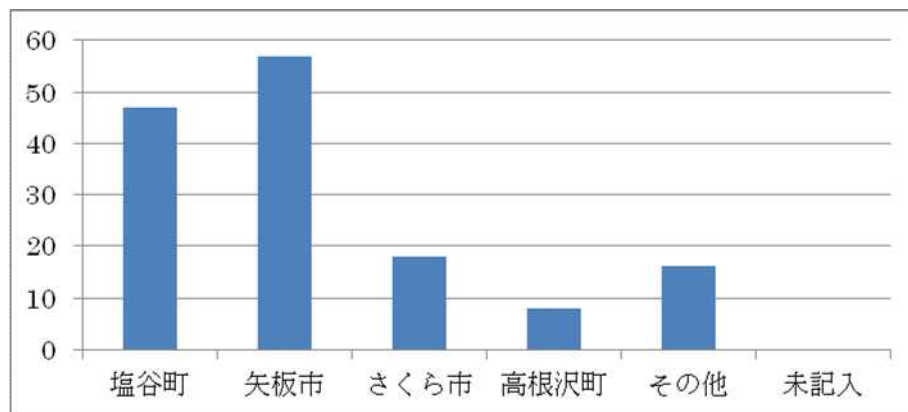
でも、放射能を測定する重要性が、参加された方々にはお分かりいただけたのではないかと、思います。

塩谷町の行政関係者、そうそう、開会の挨拶をされた町長も最後まで聞いてくださりましたから、放射線量測定に関して、もっときめ細かに行えるような環境整備をやって下さるのではないのでしょうか。そうすれば、この講演会をやった甲斐があるというものです。

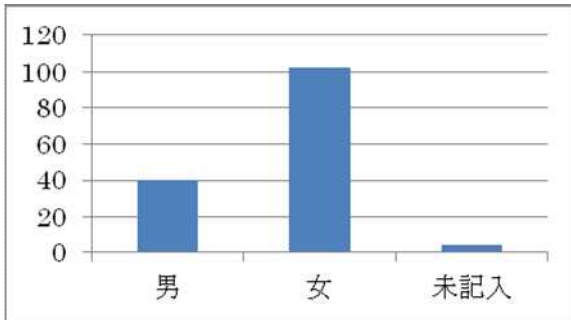


アンケート結果

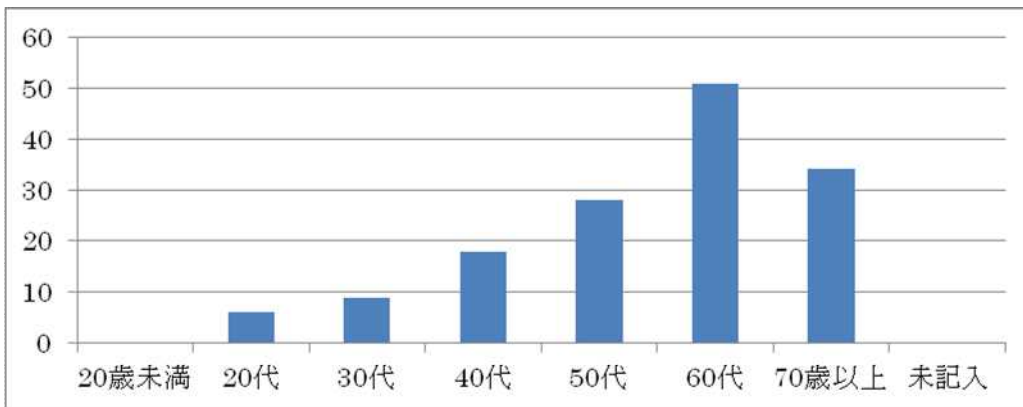
住まい						
塩谷町	矢板市	さくら市	高根沢町	その他	未記入	総計
47	57	18	8	16	0	146



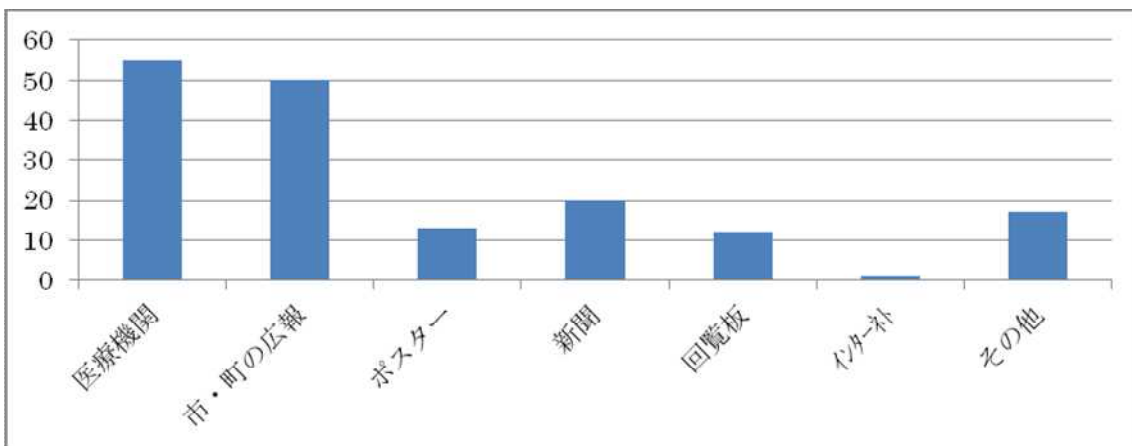
性別			
男	女	未記入	総計
40	102	4	146



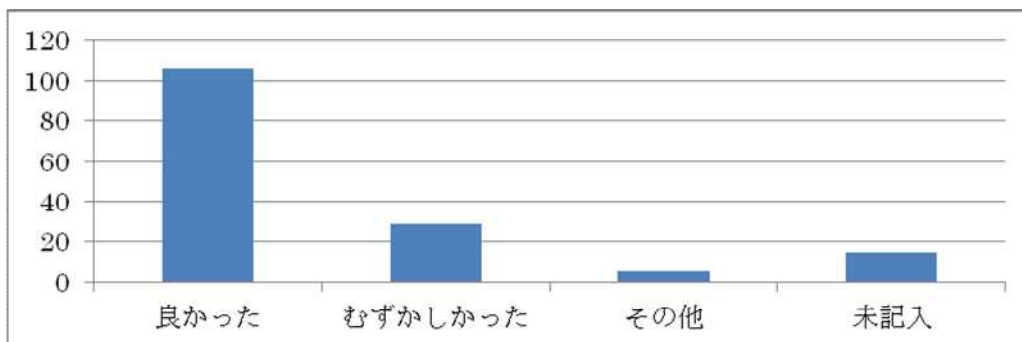
年代								
20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	未記入	総計
0	6	9	18	28	51	34	0	146



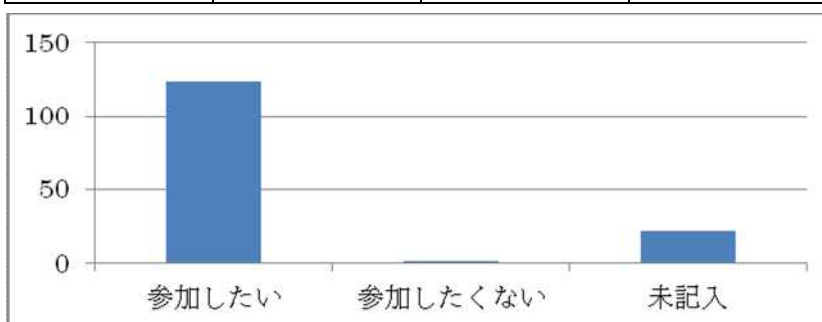
広報				
医療機関	市・町の広報	ポスター	新聞	回覧板
55	50	13	20	12
インターネット	その他	総計		
1	17	168		



講演内容				
良かった	むずかしかった	その他	未記入	総計
106	29	5	15	155



参加・不参加			
参加したい	参加したくない	未記入	総計
124	1	21	146



コメント

塩谷町 60代 男性

塩谷町の現状が良く分かりました。

塩谷町 60代 女性

低線量放射物質の体に影響する機序が理解出来た。DNA を傷つけるところまではわかっていたが、よりわかった。ロマネンコ論文も読んでみたい。食料による内部被曝の影響も再確認させられた。

「食物や身の回りで接するものの放射能を測定してわかったこと」の講演が具体性があり、これからの内部被曝の参考になった。

塩谷町 70才以上 女性

少々むずかしかった。低線量被曝でも目に見えないので、何か分かりにくいと思う。

塩谷町 60代 男性

マスコミ等である程度の知識がありましたが、3氏の方々の説明でより理解出来たと感謝しております。食料等毎日使用するものについては、今後も留意し続けて行きたいものです。原発再稼働には、小生も大反対です。国民として人間としても肝に銘じています。

塩谷町 60代 女性

テレビではわからない事くわしく生で説明していただき大変良かったです。

塩谷町 50代 女性

むずかしいとは思ったけれど、少し安心しました。

塩谷町 50代 女性

食品の管理は、大事であることを実感いたしました。チェルノブイリと福島の違い。

塩谷町 50代 女性

福島産物をもっと食べていきたい。

塩谷町 70才以上 女性

漁業はまだまだ協力をして回復してほしいですね。早く克服してほしいですね。

塩谷町 60代 男性

むずかしかったけど大変参考になりました。

今後も参加したいと思います。ありがとうございました。

塩谷町 60代 女性

意識を持って生活したい。

塩谷町 70才以上 女性

とてもわかりやすくお聞かせいただいたので、心配が少々安らいだ思い、少しホッとしました。食事の大切さを身にしみました。

初めて出席させていただき、大変勉強になりました。これからも機会があったら、よろしくお願い致します。

塩谷町 50代 男性

放射線量の問題を取り入れて頂きありがたい。

塩谷町 60代 女性

内部被曝と外部被曝に関する知識を得る事が出来、私なりに理解する事が出来ました。今日学んだ事を家族近所の方にも伝えたいと思います。

毎回出席し拝聴しております。近くで講演を開催して頂く事に有難く思ってます。

塩谷町 40代

町でどのような対策したら良いか、もう少しつきつめて言って欲しかった。金澤さん、和田さん良かった。大和田さんのさいごの言葉良かった。

塩谷町 50代 女性

もう少し身近な具体的な話が聞きたかった。

和田先生、金澤さんのお話は身近で具体的で、とても興味深かった。それに町民の意識の向上（先頭に立って）に務めてください。ありがとうございます。

塩谷町 50代 女性

チェルノブイリと南相馬との内部被曝量の違いの理由は食品が大部分であることを聞き、又その裏付けとなるデータをこの目でみたことで、私や私の家族が子供たちを思い努力し

てきたこと（食品、生活面共に）大切してきたことに間違いないという思いで励まされました。

放射線に関する問題は継続して取り入れてご講義、ご報告いただきたい。

塩谷町 60代 女性

事故以来、米の基準が 25 ベクレル以下との事ですが、事故以前は 0.1 ベクレルではないでしょうか。すると何でも規準(国の決めた)に合わせてやるのはおかしい。大和田先生ガンバレ

塩谷町のお医者様ガンバレ。官僚とマスコミに負けずガンバレ。脱原発にもっと積極的に！！

塩谷町 50代 男性

ロマネコ論文について、子供たちも膀胱がんになっているのかわかりませんでしたので、質問しませんでした。子供たちの健康被害(がん以外)について説明してほしかった...子供たちはタバコ吸いませんから...

塩谷町 40代 女性

ひどかった、残念です。事故前の 0.1 b g のことやガン以外の病気のことを話さなかったのがっかり。

塩谷町 70才以上 女性

今日の講演に来てよかった。

医師会の人達がよく話をしてくれた本当よくわかった。

塩谷町 60代 女性

むずかしいけど参考になりました。

塩谷町 60代 男性

町が責任をもってやるべき。(70万は安い買い物である)

すべて公開してほしい。

矢板市 40代 女性

放射線量を数字で見ることで放射能の恐ろしさを知ったが、現実自分がそれに対してどれだけ対処できるか、どうしたらよいのか不安がある。目に見えない敵を相手にするには大変なことだと思う。

矢板市 50代 女性

これからも続けて市民に情報を提供して下さい。毎回楽しみに参加したいと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。

矢板市 60代 女性

金澤氏の話が、今心配している生活の面の話がわかりやすく良かった。

良かった。怖くなったり...、安心したり...。

始めて参加しました。又、ぜひ聞きたいです。

矢板市 60代 男性

次回、期待します。

矢板市 60代 女性

身近な話題ありがとうございます。

矢板市 50代 女性

栃木県内では放射能についての講演が殆んどなく、今回参加出来、良かったです。

医療機関に勤めていますが、勤務希望休日がスケジュール関係で1ヶ月前に休日希望を出さないと休みが取れません。郡市会から次回の講座のお便りを頂いていますが、出来れば講座1ヶ月前にいただければ幸いです。

矢板市 40代 女性

今までよくわからなかったことが分かってよかった。

忙しい中ご苦労様です。これからも活動をやって下さい。

矢板市 60代 男性

初めての講座であったが、今迄わからない事がいくらか理解できたようだ。

次回の講座も参加したい。

矢板市 60代 女性

先生の熱心なご講義有難く思いました。

矢板市 70才以上 男性

体内のH₂Oと組織分解の関係等初めて聞いた。

すばらしい。今後も講座を開いて下さい。

矢板市 60代 女性

自家野菜を作っていますが、60才すぎなのでもういいやという考えをやめにしました。家族の健康を考えます。

矢板市 70才以上 女性

セシウムが3年、5年で半分になると先生のお話をきいて理解できました。和田先生、金澤先生のお話も具体的に説明され本日参加して良かったです。ありがとうございました。

矢板市 60代 女性

いいお話なのに出席者が少なかったのは残念です。若い方にはもっと関心を持ってもらわねばならない問題なのに残念です。専門的でむずかしいところもありましたが、再認識いたしました。

矢板市 60代 女性

低線量被曝の詳細を臨床医の先生から聞いたことは現実的な疑問や、皆さんがもっている被曝への不安を解消し、又これからの対処法を具体的にさせてくれたのではないのでしょうか。

地震の多い日本は、原発は作ってはいけない。絶対安全ということはない！ 人間がコントロールできないリスクはさけるべき。

矢板市 20代 男性

詳しいデータ、エビデンスがある上での話で大変勉強になりました。取り除ける不安は取り除き、本当に不安に思わなければおならないことは教えて欲しい。

今回の様に専門的な内容を発信する場合、内容や表現によっては誤った認識をしてしまうと思います。その点注意して欲しい。

矢板市 60代 女性

むずかしかったが、いろいろな話をきいてひと安心したところがありました。

金澤氏の講演はとても身近に感じられとても良かった。

さくら市 70才以上 女性

わかりやすいお話で参考になりました。日頃のご苦勞に感謝します。

さくら市 40代 男性

事前に資料がないのでわかりにくい。いろいろな数値は出てくるが、よくわからない。数値ではよくわかりませんでした。考え方などよく理解できました。良かったです。ひきつづき同じ講習をしてほしいです。

さくら市 60代 男性

「低線量被ばく」の認識を改めて考えさせられました。

さくら市 60代 女性

良くわかりました。しかし自分でやるには大変だと思います。(何度もすること)生活内のどこまでするかということ。

さくら市 60代 女性

生活に関する放射線被ばくについて少しでもさくら市の人にも勉強してほしいです。

さくら市 60代 女性

少し安心した。が、今後も気をつけていく必要があることを知った。

さくら市 20代 女性

自分に知識が殆どなかったので、スクリーンだけだと見づらく内容が口頭だけで伝わる状態だと難しかった。手元に資料をいただけるとうれしいです。知らなかったことを多く学べ、とても勉強になりました。

私たちにとって、とてもためになる学びの場だと思います。また、他のテーマでも講座に参加したいと思いました。

さくら市 40代 女性

スライドの資料もらいたかった。

さくら市 30代 女性

子供がいるので、これから生活していく上で、どういうことを気をつけていったら良いのかなど、具体的な話が聞きたかったです。

さくら市 60代 女性

こまかな調査にもとづき、説明をいただき、これから気をつけていきたいことがいろいろ分かりました。分かりやすかったです。

さくら市 70才以上 女性

和田先生、金澤先生の報告から斉藤先生の話と、とっても話のつながりで良かったです。専門の話でもあり聞きなれない単語もむずかしかったです。

現地(塩谷町内)の放射線測定...現実性で身近のことで良かった。原発は反対です。

高根沢町 30代 女性

今の状況から何が必要かを知ることができた。食品管理を信じて子供達も守っていききたい。

高根沢町 60代 女性

放射線被ばくについて具体的で大変わかりやすい話でありよかったです。

和田氏、金澤氏の実例をあげての話は、日常生活の中で大変心配していたことが具体例で

よくわかり大変参考になりました。

安心してまた食品などに注意して生活できるようになりました。将来に希望のもてる専門の先生方の内容でよかったです。

今回の内容のように適時性がある内容で、大変参考になる講演会でした。今後もよろしくをお願いします。

高根沢町 70才以上 男性

どの話、講演もすぐれていてよかった。

医師会の意欲に感謝しています。今後とも是非一般町民のために頑張ってください。

高根沢町 50代 女性

福島自身も大変な時間を過ごしてきたのではないかと思います。

今後は日本、世界で考えなくてはいけないことが多いと思います。

日光市 50代 男性

くわしくご説明いただきました。聞いたことにより安心、不安が交りました。

大田原市 40代 男性

3人の先生方の講演資料を是非ホームページで公開して欲しいです。

内部被曝でr線をあまり重要視しないのでは？

3年で半分になるという説明があったが、これはSVの話、Bgではない。しかしこの話の説明にCs134とCs137が半々と言及していたが、これはBgであってSVではない。やや誤解のある説明の感アリ。

大田原市 50代 女性

専門的な内容ですが、わかりやすく説明していただけて、大変勉強になりました。(内部被曝量の説明)

継続して原発事故関係の講座をうけてみたいと思いました。また、ぜひよろしく願い致します。

那須塩原市 60代 男性

関谷(那須塩原市)は県内でも一番高いです。

宇都宮市 20代 女性

放射線量を他人事のようにあまり気にしてなかったが、私自身妊娠してこれから生まれてくる子供達の為に、甲状腺の定期的な詳しく検査等実施されるとありがたいと思った。

その他 20代 女性

低線量被ばくは必ずしも影響があるわけではないが、ゼロではないという考え方が大切であるということを念頭において生活しなければならないということがわかった。

その他 60代 女性

金澤さんの話はとても良かった。よくあれだけ細かくていねいに測定されたなと感動しました。

その他 40代 男性

同様の講座、氏家、那須町、宇都宮市、塩原町より判り易かったし、内容もかなり良かった。

その他 60代 女性

細かい説明で興味をもつことができ、生活に役に立たせ様と思いました。

その他 40代 女性

もう少し具体的に今後の生活についての話が聞きたいと思いました。

その他 50代 女性

皆頑張っている姿がよく分かった。

最後の新聞の話で興味深い内容ですが、過激になると戦争を呼ぶことにもなります。世界の中の日本の立場の弱さは、敗戦国であるという立場がいまも続いていると思います。私もアメリカ等の態度に不満はありますが、世界で生きていくにはあまりに小さく若者がいないと思います。

その他 40代 女性

様々な専門家のお話をききたいと思いました。